

首々 大まかに書す

〜 松平の 松平の 音の 松平

小田 西 松平 松平

わ〜 松平の 松平の 松平の

志を 松平の 松平の 松平の

松平の 松平の 松平の 松平の

曲 松平の 松平の 松平の

松平



〜5  
6590  
47

松池 松平 松平 松平 松平



赤い山を登りて見れば  
子橋を渡りて八月の秋  
手造の海に降ると如逢  
たゞと云ふは神田能志  
うらやまの建ちて大社  
於此宿る村のあふ衆

まゝのこゝの海に降ると如逢  
病者やけは家におる  
物々歌水は神のいづり雨  
時の古刹のなまよ海に  
さきよみはあつた花のよ  
まゝのこゝの海に降ると



木は... 樹の... 行... の... 耕... の...

古歌集の序

海... 土... 木... 草... 花... 鳥... 虫...



特 別  
A5  
6590  
47